

努力事項解説 その3 (中学校特別活動)

「望ましい勤労観・職業観を育成するとともに、ガイダンスの機能を充実させ、生徒の学校生活への適応や人間関係の形成、主体的な進路の選択などができるよう指導・援助に努めましょう。」の続きです。

「生徒の学校生活への適応や人間関係の形成、主体的な進路の選択などができるよう指導・援助に努めましょう」とは

ガイダンスの機能を充実させることで、

生徒の学校生活への適応や人間関係の形成

主体的な進路の選択

ができるようにしましょう。

ということです。

つまり、ガイダンスの機能を充実させるねらいが、上記2点ということです。前回、ガイダンスの機能を充実することについて、「何を、どのように進めていけばよいか。」具体的に記載しました。

その記載を参考にしてガイダンスの機能を充実させることで、生徒が学校生活に適応して良好な人間関係を築き、楽しく充実した学校生活を送ることができるようにすることが必要です。また、進路の選択に当たっては、それを主体的に行うことができるようにすることも必要です。



今回は「学級活動や学校行事との関連を図るとともに、異年齢集団による交流のよさを一層重視して、自己肯定感・自己有用感が高まるよう適切な指導に努めましょう。」について考えてみます。

9月20日（金）頃アップの予定です。